カリオカの風

リオデジャネイロ日本人学校通信

４ 月 号

令和７年 ４月 ８日

校長 小堺 広司

学校教育目標
「 やさしく
かしこく
たくましく 」
～世界の架け橋となる子ども
たちの育成を願って～

新たな覚悟を持って、一歩踏み出しましょう！

～ 世界の架け橋となる子どもたちの育成を願って ～

令和７年度が始まりました。ご入学・ご進級おめでとうございます。

小学１年生から中学３年生まで１１名（小学部７名、中学部４名）の子どもたちが、新たな覚悟をもって、一歩を踏み出しました。

子どもたちは今、「未来の通過点」を歩むことになります。これは未来を創るための貴重な時間であり、リオ日学で過ごすからこそ、必ず素敵な人生の物語として時を刻むことができます。特に小学部６年生１名と中学部３年生２名は最高学年として最後の１年となります。新たな覚悟を持って「未来の通過点」を堂々と歩んでいきましょう。

安全で安心して楽しく通える学校となるよう、教職員一同努力いたします。

保護者の皆様、関係諸機関の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

＜学校経営について＞

「やさしく　かしこく　たくましく」

～ 世界の架け橋となる子どもたちの育成を願って ～

を学校教育目標に掲げ、教育活動を推進してまいります。

「自分を磨く子」＝めざす子ども像

- 関わって磨く（人や自然・社会と進んで関わる意欲と方法を身につけた子）
- 磨く方法を学ぶ（知識や技能だけでなく学習への意欲や方法を身につけた子）
- 磨く土台を作る（健康で安全な生活の習慣を身につけた子）

本年度の重点

- 「読む・書く・聞く」を重視した授業
- NIEの推進（表現する喜びの育成・言葉を重視した指導）
- 学び合いの授業づくり（中南米日本人学校とのオンライン学習）なぜと聞ける授業
- 体験学習・ゲストティーチャーによる学習
- 健康に関心を持ち、進んで体力づくりに取り組む指導
- 英語、ポルトガル語の実践的な指導

＜始業式　校長講和より＞

皆さん、おはようございます。新しい１年が始まります。リオ日学に通う１１人の子どもたち、７人の先生方、３人の講師の先生、事務長さんをはじめとする現地スタッフの皆さんと一緒に、リオデジャネイロ日本人学校の新しい扉を開きましょう。

今日初めてリオ日学に通うことになった５人の子どもたちに、仲良くなれる魔法の言葉を教えます。それは「リオ日学ファミリー」です。私たちが、まるでひとつの家族の様に過ごすからこそ、だれにでも優しく、お互いを思いやりながら楽しい学校生活を送ることができます。何か困ったことがあったら「リオ日学ファミリー」とつぶやいて、明日へのエネルギーとしましょう。

さて、皆さんは、なぜ今ここにいるのか考えたことがありますか。

「人生は選択の連続」と言います。ケンブリッジ大学Barbara Sahakian教授の研究によると、人は1日に3万5,000回の決断をしているそうです。「今日は何を食べよう」「どんな服を着よう」「何時のバスに乗ろう」「この人にどんな言葉をかけよう」など、日常の中で無意識に数多くの決断をしています。リオ日学へ来たことは、皆さんの親や、皆さん自身が、無数にある未来への道筋からひとつひとつの選択を繰り返した結果です。これからもきっと人生に関わる選択を何度も迫られるなら、この出会いを大切にしませんか。

詩人・相田みつをさんの詩を読みます。

人の世の　しあわせは
人と人が　逢うことからはじまる
よき出逢いを

いつどこでだれとだれが
どんな出逢いをするか
それが大事なんだな

そのときの出逢いが
人生を根底から
変えることがある
よき出逢いを

同じ時代に生き、世界何十億もの人がいる中、リオ日学の出会いを楽しみ、同じ教室で勉強できることを喜び、豊かな人生を積み上げていきましょう。必ずこの出逢いは、皆の人生を根底から良い方へ変えていきます。